

平成26年3月期第1四半期 連結決算

補足説明資料

2013/8/9

AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD



補足説明資料①

1. 売上高、利益等前年同期実績を大きく上回った理由は

東日本大震災からの復旧・復興事業の進展に伴う測量事業の増加と、全国各地で進められる公共測量事業執行により、測量機器を中心とした設備投資意欲が回復しつつある状況にありました。さらに、平成26年4月に予定されるWindowsXPのサポート終了に向けて、当社製品ユーザーに対して、PC機器環境変更と合わせて当社現行ソフトウェアへのアップグレードに向けた提案を積極的に進めたことにより測量用ソフトウェア及び測量機の売上高が前年同期に比べ65百万円増加に繋がりました。

また、3次元移動体計測機器（以下、MMS）活用事業においては、MMSにより取得される高精度の3次元情報と、解析、表示技術に高い評価をいただき、多くの企業からの計測受託に結びついた結果、計測受託、車輛販売含めたMMS関連の売上が前年同期と比べ、55百万円増加となりました。

2. 第1四半期業績を踏まえ、平成26年3月期の業績予想は修正しないのか

現時点では、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

3. MMSに関する活動の結果として、当第1四半期業績にどの程度寄与したか？

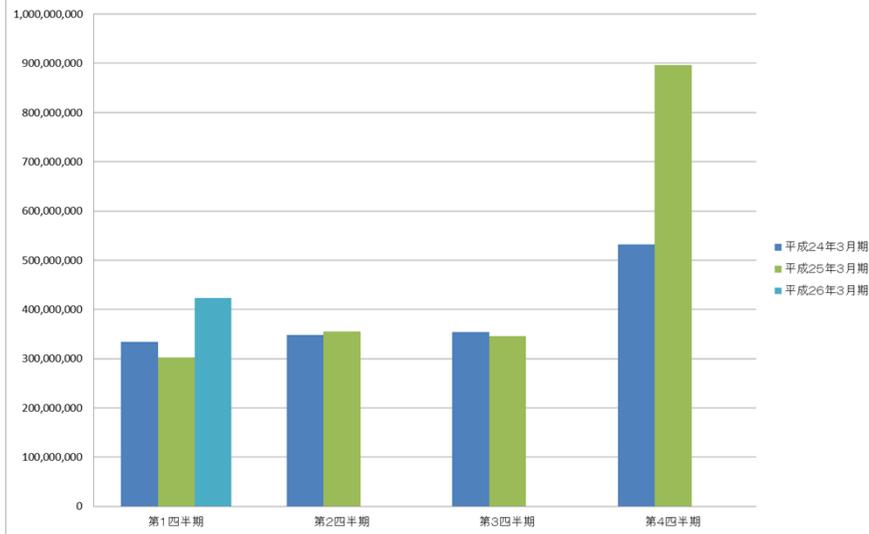
MMS計測受託売上高は前年同期比39%増の31百万円となりました。一方で、受託業務の一部を納期対応として外注委託を実施したこと等により原価率が上昇し、売上総利益は8%減の13百万円に留まりました。

また、MMS車輛販売を含む機器販売による売上高は56百万円となりました。

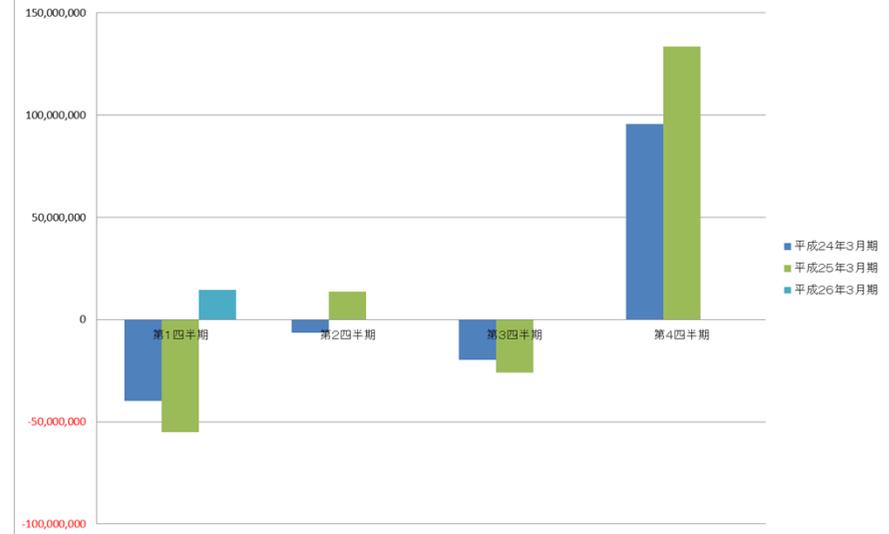


補足説明資料②

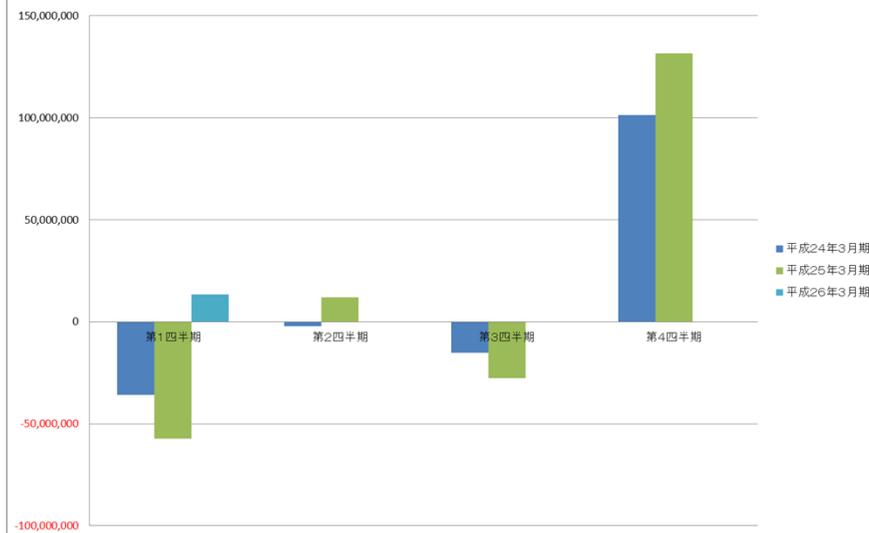
四半期会計期間売上高(3期比較)



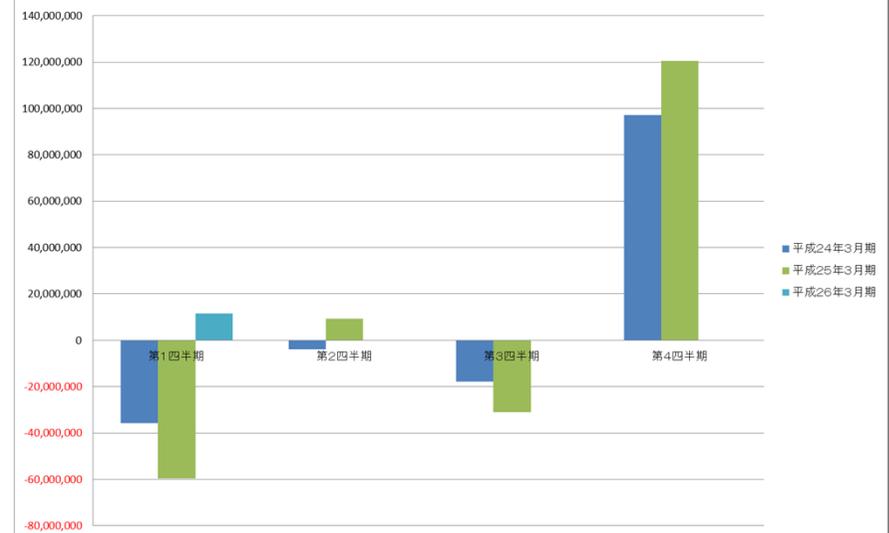
四半期会計期間営業利益(3期比較)



四半期会計期間経常利益(3期比較)



四半期会計期間当期(四半期)純利益(3期比較)





補足説明資料③

4. 連結財務諸表に関して

(1) 連結貸借対照表において前連結会計年度との比較分析

①資産の部にて受取手形及び売掛金が、負債の部にて支払手形及び買掛金が減少している要因は？

前年度末に売上計上したMMS車両販売に係る売掛金を、当第1四半期で回収したため売掛金が減少致しました。またMMS車両の仕入れに係る買掛金を当第1四半期で決済したことにより、買掛金が減少致しました。

②前連結会計年度末と比較し、資産の部における、仕掛品が増加している要因は？

MMS計測受託販売に係る仕掛外注加工費が9百万円、当社内で計測・開発している仕掛給与が3百万円あります。

③負債の部において前受金が増加している要因は

当社では製品売上及び保守サービスの成約が年度末に集中する傾向にあります。年度末に成約した保守サービスは売上を契約期間で按分し、未提供部分のサービス代金については前受金に計上しております。当第1四半期におきましても、保守サービスの契約が順調に推移したことから、前連結会計年度末に比べ、前受金の額が増加しております。

④負債の部における固定負債項目で繰延税金負債が増加している要因は

当社では期末時点で保有している有価証券の評価を行っており、評価益が発生している有価証券については将来発生する売却益に係る税金を繰延税金負債として計上しております。なお、当四半期連結会計期間末は前連結会計年度末と比べ、市場価格が上昇したため、保有有価証券評価益はさらに増加したことにより、繰延税金負債も増加しております。



補足説明資料④

(2) 連結損益計算書に関して

①販売費及び一般管理費が減少している要因は

前連結会計年度まで製品の企画及び品質管理を行う部門の経費は販管費で計上しておりましたが、当期より品質管理を行う部門を独立し、製造部門と致しました。そのため品質管理部門に係る経費が販管費から製造原価に振り替えられたことによる減少が主たる要因です。

②営業外収益項目において新たに還付消費税等が発生しているが何か

当社連結子会社であるエーティーラボ株式会社は消費税の簡易課税制度適用会社のため、仮受消費税と仮払消費税の差額から、実際に納付する消費税額を差し引いた金額を還付消費税等で計上しております。

なお、前連結会計年度におきましても、同社は簡易課税制度の適用がありましたが、適用前の消費税額を計上したことから、実際に納付した消費税額との差分は当期の還付消費税等として計上しております。

③営業外費用項目において支払利息が減少している要因は？

当社が保有するリース資産の取得に係る支払利息相当額は、リース残高に合わせ減少しております。また、前第1四半期連結会計期間から新たに契約したリース物件が無いことから、前第1四半期連結会計期間と比べ支払利息全体が減少しております。



補足説明資料⑤

5. **WindowsXPのサポート終了が当社の販売活動にどのような影響を与えるのか**

現在、当社製品をご利用のお客様においても、WindowsXPをご利用されているケースが多々あります。WindowsXPの供給元であるマイクロソフトがサポートを終了することによりセキュリティ更新プログラム等の供給とともに周辺機器のサポートも終了となります。その結果、当社システムを安心且つ安定してご利用いただくためにも早急に新しいOSへの移行が必要となり、その提案活動を積極的に行っております。

6. **準天頂衛星「みちびき」を活用した取り組み状況は？**

準天頂衛星「みちびき」を利用することにより、高度な位置情報利用の実現を目指した研究開発を進めております。MMSにより得られる座標点群データを利用し、車線情報等を含む高精度数値化モデルによる道路情報の生成が可能となり、従来のナビゲーション等では不可能であった、車線認識ナビゲーションの他、逆走防止、道路勾配情報をもとにしたエコ走行支援、及びカーブ情報からの走行支援機能等への実現に向けた研究開発を進めております。

また、当研究は「平成25年度新あいち創造研究開発補助事業」として認定を受け、名古屋大学と共同でITS業界での利用に向けた研究を進めております。



補足説明資料⑥

7. 電子カルテシステムの見通しは？

これまでにご導入頂きましたお客様より頂戴した、実務によるご利用を通じた様々なご要望を盛り込んだ製品をORCAサポート認定店を通じた販売活動も継続しております。また、手書きの医療文書ツール、医療文書における電子署名技術提供など電子カルテを取り巻く周辺システムをセットにしたソリューションの提案を行ってまいります。

8. 「第22回3D&バーチャルリアリティー展」出展の効果は

本イベントへの出展は3年目を迎え、測量・設計業のご担当者様以外にも、自動車メーカー・ITS関連企業等、様々な分野の業種のお客様にお立ち寄り頂き、当社にとって自動車関連業界という新たな市場への足掛かりとなった重要なイベントと位置付けております。特に今年度は、当社の掲げる「高精度車両計測システムを利用した3次元道路データの開発・販売」事業が中部経済産業局より新連携支援事業として認定を受け、自動車・ITS業界に向け、技術の提案を行うには絶好の機会となりました。当社ブースでは、MMSの実車展示、計測サービス・データ処理技術だけでなく、準天頂衛星を利用した実証ツールである、「QZS-ProveToolEX2」、手書き文字認識エンジン「HandzReco」の展示・紹介を行い、3日間を通じ200名を超えるお客様にお立ち寄り頂き、当社の事業並びにご提案に関心をお持ちいただきました。

本イベント終了後には、MMSによる計測、並びにその後処理技術、HandzReco等、多くの商談が進んでおり、各事業の更なるステップアップに繋げてまいります

9. 6月26日に発表した中期経営計画における当期のコミットの進捗状況は

中期経営計画の発表時にお約束した3つの約束を達成できるよう、全社一丸となって全力で挙げて取り組んでおります。



本資料に記載された情報や業績予想等の将来見通しは、資料作成現時点において入手可能な情報及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されております。今後、経営環境の変化等の事由により実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】
アイサンテクノロジー株式会社 業務統括本部
TEL: (052) 950-7500
お問い合わせURL : <https://www.aisantec.co.jp/contact/>